

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	English English 1	英語文化 概論 1	ドイツ語 基礎 1	英語文化 概論 2	人間科学 概論 1
2	ドイツ語 基礎 2	文学 概論 1	English English 2	英語文化 概論 3	英語文化 概論 4
3		文学 概論 2	英語文化 概論 5	英語文化 概論 6	ドイツ語 基礎 3
4	人間科学 概論 2				ドイツ語 基礎 4
5					人間科学 概論 3

か違わなくて。「もう何がやりたいかわからん！とりあえず実学や！」って感じで、センター受けたときに「ほんまにこれでいいのかな」と思って笑。自分は何がしたいかなって考えたときに、「やっぱり言葉が好きやな」って思って、そこでやっと文学部にしようって腹が決まった感じです。

けんちゃんぬ…実学重視の学部より、研究内容そのものに興味があって没頭できるところの方がいいと思って。文学部も括りとしてはおもしろいことをやっているイメージがあったので、いわゆる文学部！みたいな固定観念はあまりなかったですね。

みっこ…市大の文学部に入ってよかったと思うのは、コース選択まで1年間あるので、自分が何をやりたかを決められる機会も与えられて、また、それをきちんと継続できるかも確認できることです。14コース2領域あるだけあって、私が期待していた以上になんでもできるやん！っていうのは実感できたので、入ってよかったなと思います。

ドイツ語圏言語文化領域(以下、独文)に決めたのはいつですか？
みっこ…もともと独文は候補だったけど、夏ぐらいまでは第一希望では

なかったです。ドイツ語しゃかり勉強して、コースガイダンスも聞いて、留学もできそうだし、ドイツ語圏に

関係することなら文学だけでなく文化も学ぶことができるし、言語自体も研究できるので、「独文って幅広いやん！」って思って決めました。

文学部に入ってよかったことは何ですか？
けんちゃんぬ…趣味的な学問と実生活で使える学問が両立できるの

いいところだと思います。一般には、「文学部って役に立たないでしょ」と感じると思うのですが、意外とそんなことはないと思っています。

いわゆる実学って、その分野の専門家にならなければ使われないけど、そうではなかったときにぱっちり使えるかって言われるとそうでもないじゃないですか。たとえば、市大文学部のコースで言えば、心理学なら

実生活の人間関係の中で応用できるかもしれないとか、結構文学部で学べる学問にも役に立つ領域はあるのかなと思います。

たつきー…14コース2領域と選択できる分野も広い分、1回生のときに仲良くなった同期に会って「どんなことしてる？」って喋ってみると、やってることも全然違うし、それぞれの見方とか関心とか研究手法も全

然違うし。そういう仲間と話せるのはすごくおもしろいなって、3回生になってから感じていました。

卒業論文はどのように考えていますか？
けんちゃんぬ…なんか怖いものみたくないイメージがありますね。笑。
みっこ…準備にも相当な時間がかかるとは思いますが、卒業に必要なのは身につけたよという確認の側面と。大学院に進む人だったら研究がメインかもしれないし、社会に出る方も文学部で培った論理力や文章力がどこかで役に立つかもしれない。なので、卒業論文に対して恐怖感があるというよりは、卒業論文に取り組む過程で学ぶことは多いのではないかと思います。しんどいのはわかっていますが。

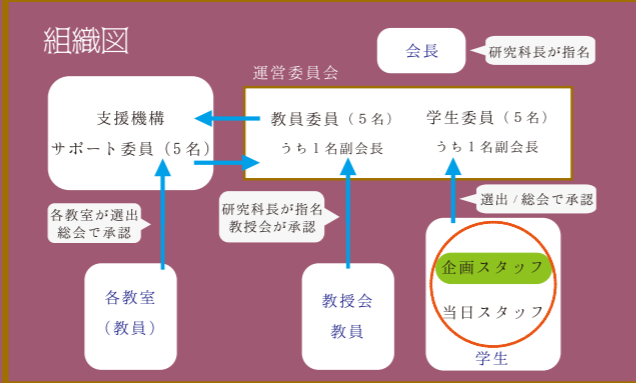
たつきー…卒業論文を課せられるということが、大学が研究機関である所以かなって思います。一同…確かに。

それでは最後に、高校生の皆さんにメッセージをお願いします。
けんちゃんぬ…受験勉強は苦しいかと思いませんが、勉強は楽しいと思いた人が勝つと思います。文学部も学びたいこと、結構役立つことを学べます。なので、文学部という選択肢も考えてもらえたら嬉しいなと思います。

たつきー…大学はいろんな人がいるところですから、その人たちと様々な形でかかわって、たくさん話しながら楽しんでもらえればと思います。

みっこ…大学生になったら選択肢も広がるし、決定権も増える。だから、すごく自由になります。良くも悪くも。自由になったときのために、今は基礎となる勉強に励んでほしいなと思います。

大阪市立大学文学部・文学研究科教育促進支援機構



「大阪市立大学文学部・文学研究科教育促進支援機構」(通称「支援機構」)は、文学部50周年記念事業の一環として2003年2月10日に発足しました。会員は文学部・文学研究科のすべての学部生・院生・教員です。企画ごとに集まった学生スタッフが、教員と協働して授業の枠にとどまらない「学び」を創造する、ユニークな組織です。学生の主体的な企画運営や活動を通して、学生のさらなる成長と学部の発展をめざしています。

活動紹介

編集

支援機構の活動報告や卒業論・修論などを掲載する機関誌『フォーラム人文学』や、市大文学部を学生目線で紹介するこの冊子、『文学部案内』の企画・編集を行っています。

▲フォーラム人文学

進路支援

就職活動や教員採用試験にチャレンジする学生に向けて、就活や面接など様々なテーマのセミナーを開講してきました。2016年度からは、新たな試みとして、文学部生のための「就活ガイダンス」を行っています。

▲就活ガイダンス

教育支援

毎年、入学したばかりの1回生に向けた「履修相談会」や「新入生歓迎キャンプ」を実施しています。また、1回生が所属コースを決める手助けとなる「学生によるコースガイダンス」など、文学部・文学研究科の教育環境をさらに向上させる活動を行っています。

▲新入生歓迎キャンプ

公式HP: <http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/education/>
Twitter: @oculit_spel (学内者向け)
: @oculit_spelPR (学外者向け)

研究支援

院生・学部生の主体的な学びや知的探求を支援しています。学生主催の研究会や勉強会に対して助成する「自主ゼミ支援事業」、「卒業論セミナー」、優秀卒業論・修論の審査や表彰を行っています。

▲卒業セミナー

広報

市大を目指す人や、興味を持っている人を対象にトーク企画やキャンパスツアーなどを行なう「オープンキャンパス学生企画」を開催しています。市大文学部の先生方による模擬授業で実際の学びを体験することが出来る「市大授業」もサポートしています。

▲オープンキャンパス 学生企画

教育支援

毎年、入学したばかりの1回生に向けた「履修相談会」や「新入生歓迎キャンプ」を実施しています。また、1回生が所属コースを決める手助けとなる「学生によるコースガイダンス」など、文学部・文学研究科の教育環境をさらに向上させる活動を行っています。

▲新入生歓迎キャンプ

支援機構の企画に参加した先輩にインタビュー！

支援機構の活動に参加しようと思っただけは？
大学で新しいことがしたい、文学部生とつながりたいと思っていたところ、オープンキャンパスの企画スタッフの募集案内が目に入りました。高校生のときに参加した企画を、今度は自分たちでつくれるというところに魅力を感じ、応募したことがきっかけです。
企画を通して得たものがあれば教えてください。
パワーポイントを使ったプレゼンや先生方とのやりとりを通じて、パソコンのスキルやビジネスメールの書き方が身につきました。また、みんなで1つの課題に取り組み中で、自分の考えを伝えつつ相手の意図を汲み取って全体の意見をまとめるといったミーティングを進める力も身についたと思います。
企画の楽しさ・やりがいを教えてください。
みんなで1つのものをつくりあげていく過程に一番の魅力を感じています。企画理念を達成するためにはどうしたらいいのかを真剣に話し合う中で、ときには意見がぶつかることもありますが、それも含めて企画の楽しさだと思います。また、参加者の方々から「参加してよかった」という声を聞くとやりがいを感じ、次の企画に参加するモチベーションが高まります。

教育学コース3回生
おか 富岡 優さん

最後までお読みいただき、ありがとうございました！クイズ、楽しんでいただけましたか？この冊子を読んで興味を持ったあなた、ぜひ市大文学部へ！

をちよつと考えてみるのがいいと思います。

けんちゃんぬ…受験勉強は苦しいかと思いませんが、勉強は楽しいと思いた人が勝つと思います。文学部も学びたいこと、結構役立つことを学べます。なので、文学部という選択肢も考えてもらえたら嬉しいなと思います。

たつきー…大学はいろんな人がいるところですから、その人たちと様々な形でかかわって、たくさん話しながら楽しんでもらえればと思います。

みっこ…大学生になったら選択肢も広がるし、決定権も増える。だから、すごく自由になります。良くも悪くも。自由になったときのために、今は基礎となる勉強に励んでほしいなと思います。

Thank you!!